



平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月12日

上場会社名 株式会社 リンガーハット
 コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東 福
 (氏名) 秋本 英樹
 (氏名) 小田 昌広
 TEL 03-5745-8611

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	23,572	3.6	1,082	23.3	1,047	23.5	256	59.4
30年2月期第2四半期	22,762	6.6	1,410	4.0	1,370	6.8	631	29.4

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 239百万円 (59.5%) 30年2月期第2四半期 592百万円 (10.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	10.25	
30年2月期第2四半期	25.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	31,786	18,565	58.4	745.30
30年2月期	31,769	19,916	62.6	799.68

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 18,546百万円 30年2月期 19,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		9.00		7.00	16.00
31年2月期		5.00			
31年2月期(予想)				7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	5.1	2,860	1.2	2,785	0.1	1,000	25.0	40.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	26,067,972 株	30年2月期	26,067,972 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	1,184,045 株	30年2月期	1,187,719 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	24,974,060 株	30年2月期2Q	24,862,005 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1)本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2)本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する説明」及び10ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想の将来予測情報に関する説明	3
(4) 配当予想の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境が改善され、緩やかな景気回復基調にあるものの、米国の通商政策による世界的な貿易摩擦の懸念や原油価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費者の節約志向に加え、原材料価格の高騰や継続的な採用難・パートアルバイトの時給の上昇が続き、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは食の「安全・安心・健康」の向上に継続して取り組んでまいりました。また、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質づくりを推進し、企業価値向上に努めてまいりました。

国内の出退店につきましては、32店舗を出店し12店舗を退店いたしました。また、海外におきましては、3店舗を出店し1店舗を退店いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内771店舗、海外17店舗の計788店舗(うち直営店舗564店舗、フランチャイズ店舗224店舗)となりました。

既存店の売上高につきましては、当社グループ全店舗の当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は100.1%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は235億72百万円(前年同期比3.6%増)となりましたが、原材料価格の高騰や運賃の上昇に加え、人手不足に伴う人件費の上昇が続き、営業利益は10億82百万円(同23.3%減)、経常利益は10億47百万円(同23.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億56百万円(同59.4%減)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、平成30年5月より夏の定番商品「冷やしちゃんぽん白」と新商品「冷やしませめん黒」の2種類の冷たいめんを期間限定で販売いたしました。

さらに、調理・サービスの質の向上を図るため、社内コンテストを定期的開催し、お客さま満足度向上に取り組んでまいりました。

なお、同年8月には昨今の原材料費及び人件費の高騰に対応するため、一部店舗を除く国内店舗において商品価格の改定を実施いたしました。

出退店につきましては、国内では29店舗を出店し8店舗を退店、海外では3店舗を出店し1店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で666店舗、海外で15店舗の計681店舗(うちフランチャイズ店舗206店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は100.0%となり、売上高は182億15百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は7億45百万円(同26.0%減)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ濱かつ」では、平成30年5月より夏の人気商品である「梅しそ巻とヒレ膳」、長崎県産「あじふらいととんかつ膳」、大根おろし・赤玉ねぎたっぷりの「ローズとヒレの清涼おろしかつ膳」を期間限定で販売いたしました。

また、他社とのコラボレーション企画を定期的実施いたしました。

さらに、調理・サービスの質の向上を図るため、社内コンテストを開催し、お客さま満足度向上に取り組んでまいりました。

出退店につきましては、3店舗を出店し4店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は国内で105店舗(卓袱浜勝を含む)、海外で2店舗の計107店舗(うちフランチャイズ店舗18店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は100.2%となり、売上高は52億35百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は1億82百万円(同38.1%減)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は11億3百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益1億45百万円(同11.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円増加し、317億86百万円となりました。これは主に設備投資による現金及び預金が減少したこと及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億68百万円増加し、132億21百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したこと、未払費用が増加したこと及び社債が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億51百万円減少し、185億65百万円となりました。これは主に第三者割当による自己株式の処分によるものであります。

(3) 連結業績予想の将来予測情報に関する説明

第2四半期までの連結業績の進捗および第3四半期以降の市場環境動向等を踏まえ、平成30年4月13日に公表した平成31年2月期連結業績予想を変更しております。

平成31年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,300	3,370	3,250	1,350	54.28
今回修正予想(B)	48,000	2,860	2,785	1,000	40.21
増減額(B-A)	△300	△510	△465	△350	—
増減率(%)	△0.6	△15.1	△14.3	△25.9	—
(参考)前期実績(平成30年2月期)	45,682	2,825	2,782	1,333	53.60

(4) 配当予想の将来予測情報に関する説明

当社は、効率的な経営体制の整備と積極的な店舗展開により、継続的かつ強固な収益基盤を確立することで、株主の皆さまへ安定した利益還元を行うことを基本方針としています。

つきましては、連結業績予想の修正に伴い、平成30年4月13日に公表した平成31年2月期配当予想も変更しております。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	8.00	—	8.00	16.00
今回修正予想	—	—	—	7.00	12.00
当期実績	—	5.00	—	—	—
(参考)前期実績(平成30年2月期)	—	9.00	—	7.00	16.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,975,177	2,149,290
売掛金	810,400	956,298
商品及び製品	102,504	121,953
仕掛品	39,451	11,233
原材料及び貯蔵品	282,778	322,736
前払費用	344,253	490,103
繰延税金資産	226,777	227,538
未収入金	745,833	1,030,588
その他	174,078	259,045
流動資産合計	8,701,255	5,568,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,913,877	10,683,047
機械装置及び運搬具(純額)	852,326	824,083
土地	4,823,093	4,820,707
リース資産(純額)	120,138	98,843
建設仮勘定	402,468	2,666,618
その他(純額)	833,195	932,767
有形固定資産合計	16,945,099	20,026,068
無形固定資産	402,733	402,517
投資その他の資産		
投資有価証券	806,270	781,864
繰延税金資産	738,202	744,309
退職給付に係る資産	100,165	117,140
差入保証金	1,119,504	1,093,925
建設協力金	100,696	93,174
敷金	2,525,569	2,613,095
その他	352,539	367,977
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	5,720,341	5,788,882
固定資産合計	23,068,175	26,217,468
資産合計	31,769,430	31,786,257

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	996,533	1,196,136
1年内償還予定の社債	216,000	316,000
短期借入金	750,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	920,388	837,608
リース債務	123,221	115,556
未払金	781,860	860,282
未払費用	1,108,977	1,538,088
未払法人税等	258,105	340,111
未払消費税等	256,941	197,740
株主優待引当金	97,014	90,318
店舗閉鎖損失引当金	24,531	5,960
販売促進引当金	5,207	3,434
資産除去債務	19,062	32,095
その他	618,081	660,341
流動負債合計	6,175,924	7,593,674
固定負債		
社債	780,000	1,072,000
長期借入金	1,222,305	840,411
長期未払金	558,599	558,142
リース債務	267,407	251,320
株式給付引当金	154,952	168,035
退職給付に係る負債	1,030,516	1,084,766
長期預り保証金	384,617	393,617
資産除去債務	1,244,433	1,249,451
その他	34,240	9,610
固定負債合計	5,677,071	5,627,356
負債合計	11,852,996	13,221,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	8,441,135	7,020,129
利益剰余金	4,883,282	4,963,966
自己株式	△2,770,252	△2,764,867
株主資本合計	19,556,927	18,221,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233,249	244,399
為替換算調整勘定	56,444	37,234
退職給付に係る調整累計額	49,689	42,424
その他の包括利益累計額合計	339,383	324,058
非支配株主持分	20,123	19,176
純資産合計	19,916,434	18,565,226
負債純資産合計	31,769,430	31,786,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	22,107,022	22,919,742
売上原価	7,335,145	7,624,830
売上総利益	14,771,876	15,294,911
その他の営業収入	655,182	652,392
営業総利益	15,427,058	15,947,304
販売費及び一般管理費	14,016,122	14,864,667
営業利益	1,410,935	1,082,636
営業外収益		
受取利息	2,327	1,908
受取配当金	7,202	7,950
為替差益	9,587	—
未回収利用券受入益	—	10,316
違約金収入	—	13,000
その他	7,978	12,122
営業外収益合計	27,096	45,298
営業外費用		
支払利息	19,949	15,175
為替差損	—	4,648
リース解約損	3,149	15,441
社債発行費	—	5,289
持分法による投資損失	24,571	26,973
その他	20,251	12,924
営業外費用合計	67,921	80,452
経常利益	1,370,109	1,047,482
特別利益		
投資有価証券売却益	9,999	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	6,500	801
受取補償金	30,000	6,039
その他	4,868	1,000
特別利益合計	51,368	7,840
特別損失		
固定資産除却損	75,527	211,363
店舗閉鎖損失引当金繰入額	15,403	45,238
減損損失	98,118	13,232
投資有価証券評価損	19,549	—
災害による損失	868	4,240
その他	—	28,527
特別損失合計	209,466	302,601
税金等調整前四半期純利益	1,212,012	752,721
法人税等	581,000	495,779
四半期純利益	631,012	256,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	809
親会社株主に帰属する四半期純利益	631,012	256,131

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	631,012	256,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,250	11,149
為替換算調整勘定	△23,562	△15,803
退職給付に係る調整額	△11,395	△7,264
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,664	△5,163
その他の包括利益合計	△38,371	△17,082
四半期包括利益	592,640	239,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	592,640	240,806
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△947

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,212,012	752,721
減価償却費	739,475	780,784
減損損失	98,118	13,232
のれん償却額	2,083	1,226
株主優待引当金の増減額(△は減少)	3,048	△6,696
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	54,287	54,219
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△6,630	△16,975
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	5,675	△18,571
受取利息及び受取配当金	△9,530	△9,859
支払利息	19,949	15,175
持分法による投資損益(△は益)	24,571	26,973
社債発行費	—	5,289
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,999	—
投資有価証券評価損益(△は益)	19,549	—
固定資産売却損益(△は益)	—	322
固定資産除却損	75,527	211,363
売上債権の増減額(△は増加)	△144,323	△145,744
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,734	△30,986
仕入債務の増減額(△は減少)	272,332	198,875
未払消費税等の増減額(△は減少)	△63,068	△59,200
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△408,643	△515,352
その他の流動負債の増減額(△は減少)	330,562	588,684
長期未払金の増減額(△は減少)	△3,370	△456
預り保証金の増減額(△は減少)	△5,000	9,000
その他	38,126	△19,500
小計	2,212,021	1,834,527
利息及び配当金の受取額	8,335	8,932
利息の支払額	△20,125	△15,108
法人税等の支払額	△798,783	△395,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,401,448	1,433,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,281,124	△4,052,597
有形固定資産の売却による収入	22,353	9,919
無形固定資産の取得による支出	△4,100	△9,962
建設協力金等の支払による支出	△61,149	△159,099
建設協力金等の回収による収入	79,920	88,834
投資有価証券の取得による支出	△25,310	△1,439
投資有価証券の売却による収入	10,000	—
子会社株式の取得による支出	△101,605	—
その他	△21,893	△54,451
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,382,908	△4,178,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,380,000	650,000
長期借入れによる収入	—	30,000
長期借入金の返済による支出	△636,274	△494,674
社債の発行による収入	—	494,710
社債の償還による支出	△128,000	△108,000
自己株式の売却による収入	—	9,528
自己株式の取得による支出	△539	△1,425,148
配当金の支払額	△245,421	△155,910
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△61,770	△68,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,452,004	△1,068,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,967	△11,818
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,450,432	△3,825,886
現金及び現金同等物の期首残高	8,906,956	5,975,177
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	55,160	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,511,685	2,149,290

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月13日開催の取締役会で決議し、平成30年5月24日開催の第54期定時株主総会で承認された第三者割当による自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は1,422,414千円、資本剰余金は1,421,814千円減少しました。さらに、平成30年7月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、自己株式は1,424,382千円増加しました。

この結果等により、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が7,020,129千円、自己株式が2,764,867千円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	17,377,816	5,288,019	96,367	22,762,204	—	22,762,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	985,484	985,484	△985,484	—
計	17,377,816	5,288,019	1,081,851	23,747,688	△985,484	22,762,204
セグメント利益	1,007,489	295,426	129,709	1,432,626	△21,690	1,410,935

(注) 1. セグメント利益の調整額△21,690千円には、セグメント間取引消去15,210千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36,901千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は21,190千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は76,928千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	18,215,104	5,235,396	121,633	23,572,135	—	23,572,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	982,036	982,036	△982,036	—
計	18,215,104	5,235,396	1,103,670	24,554,171	△982,036	23,572,135
セグメント利益	745,704	182,973	145,120	1,073,798	8,838	1,082,636

(注) 1. セグメント利益の調整額8,838千円には、セグメント間取引消去20,699千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,861千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は12,880千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は352千円であります。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
平成31年 2月期	売上高 (百万円)	15,374	5,839	21,214	4,855	942	5,797	560	363	27,936
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	475	206	681	89	18	107	—	—	788
平成30年 2月期	売上高 (百万円)	14,743	5,560	20,304	4,878	919	5,798	443	220	26,765
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	448	197	645	92	18	110	—	—	755
対前年比率	売上高	104.3%	105.0%	104.5%	99.5%	102.4%	100.0%	126.5%	165.1%	104.4%
	店舗数	106.0%	104.6%	105.6%	96.7%	100.0%	97.3%	—	—	104.4%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。